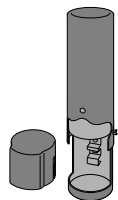


Padプラス 自動印 取扱説明書



この度は、「Padプラス 自動印」をご購入
頂き誠にありがとうございます。
「Padプラス 自動印」は、インクパッドを
本体に内蔵しているため、連続して印字
できるスタンパーです。

安全にご使用頂くために、ご使用前にこの
「取扱説明書」をよくご覧いただき、正しく
お使いください。



http://www.hankoya.com

関連製品のご案内

Padプラスインク

Padプラスインクは、産業用に開発されたスタン
プインクです。
非浸透面(金属・樹脂など)用インク、浸透面(紙・
段ボールなど)用インクをラインナップ。

差替式ゴム印

Padプラス用の差替式ゴム印です。
印字したい内容(文字)を差替えて使用する事
が可能です。
*差替式ゴム印は自動印9mmではご使用頂けません。

販売元



http://www.hankoya.com

お問合せ先: http://www.hankoya.com/mail/

使用上のご注意

△注意 ゴム印を差込む際やインクを補充する
際は、手の保護のために手袋等を着用
下さい

手や衣類にインクが付かないように気をつけて下
さい。

△注意 インクを取り扱う際は、こぼさないよ
うに正しく扱って下さい

インクをご使用頂く際は、MSDS(製品安全デー
タシート)をご確認の上、正しくご使用下さい。

△注意 金属製のため、印字対象物に傷が付く
恐れがあります

本体全体が金属製のため、本製品を強く押し当て
すぎると印字対象物表面に傷が付く恐れがありま
す。

より長くお使い頂くために

ご使用後の保管方法

ご使用後は、スタンパー可動部分や、ゴム印
部分に付着したインクを、専用のソルベント
(溶剤)で洗い落としてください。

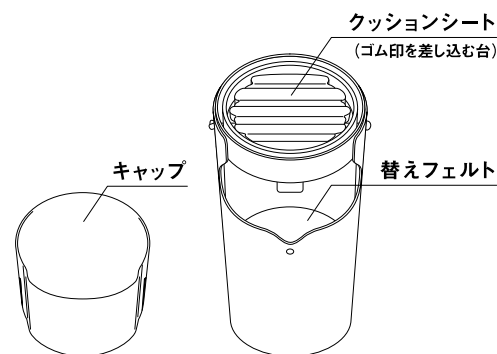
消耗部材

自動印内部にあるフェルトがインクを吸収しに
くなくなったり、湿潤時間が短くなってきた時、専
用のソルベント(溶剤)をフェルトに含ませること
で、再活性化させることが可能です。

再活性化を行っても改善が見られなくなった
場合は交換時期です。専用の替えフェルトを
お買い求めください。

※フェルトの交換手順は次ページをご覧ください。

各部名称



※自動印24mm、30mmは、キャップがありません。

※自動印9mmは、直接ゴム印を貼付けた(直貼)タイプのみ
となります

ゴム印のセット方法

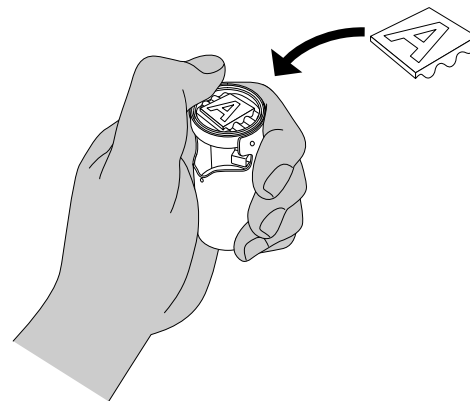
クッションシートの凹部に対し、差替式ゴム印裏面
の凸部を合わせて差し込むことで、ゴム印を固定す
ることが出来ます。

ゴム印を交換する際は、手袋等の保護具を使用し手や衣類にインク
が付かないようにご注意下さい。

ゴム印交換の際は、必ずフレーム部分に手を添えた状態で行って下
さい。

ゴム印のずれや外れを防ぐため、しっかりと奥まで差し込んで下さ
い。

インクパッドの端はインクムラが発生しやすいため、ゴム印は出来
るだけスタンパー中央部にセットして下さい。



※自動印9mmは、直接ゴム印を貼付けた(直貼)タイプのみ
となります

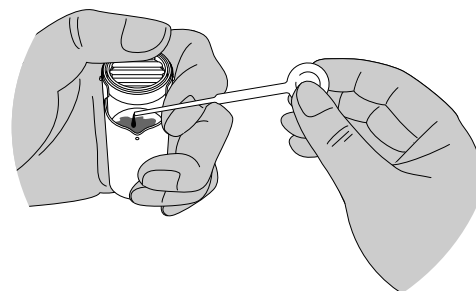
インク補充方法

本体にインクは含浸されていません。付属のスポン
ジを使い、内部のフェルトにインクを含浸させ
て下さい。

インクを補充する際は、手袋等の保護具を使用し手や衣類にインク
が付かないようにご注意下さい。

インク補充の際は、必ずフレーム部分に手を添えた状態で行って
下さい。

新品のフェルトは、インクを吸収しにくい場合があります。
インクの入れすぎに注意して、すこしずつ含浸させて下さい。



仕様・性能は予告なく変更することがありますのでご了承ください。

Padプラス 自動印 取扱説明書

発行: 2010年11月1日



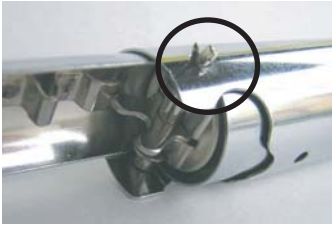
- <使用工具>
- ・プライヤー（ペンチでも可）
 - ・マイナスドライバー
 - ・ピンセット



※この手順書をよくご覧いただき、作業を行なって下さい。

I. 本体の分解

ピンを抜き、本体を分解します。



①ピンの端をプライヤー等で狭めて下さい。組み立て時に再度広げる為、ドライバーが差し込める空間を残して下さい。



②手で本体を押さえながらピンを抜いて下さい。

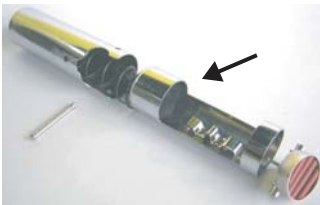
※本体にはバネがあります。部品が飛んでいかないようにご注意ください。



③分解終了。フェルトの交換へ。

II. フェルトの交換

矢印部分のフェルトを交換します。



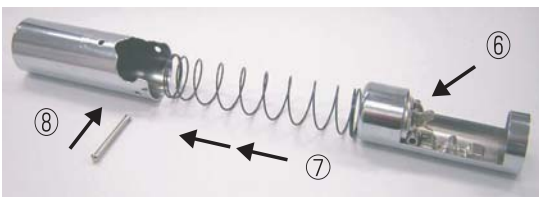
④古いフェルトをピンセットで取り外します。



⑤新しいフェルトをセットします。

III. 本体の組み立て

各部品を下図の順番で組み立てます。



⑥クッションシート部分をフェルトの上に置きます。



⑦本体をピン孔が合うまで縮め、ピンを入れます。



⑧ピンの端にドライバーを差し込み、抜けないように広げます。



自動印24mm・30mmの場合は、本体を少し縮め、隙間からフェルトを交換する事も可能です。



フェルト交換後は動作確認を行い、ご使用下さい。